



これからの糸島市の発展に夢と希望を与えてくれる、九州大学伊都キャンパスの移転

前原地区 104.50km ² 居住可能面積 57.42km ²
二丈地区 57.07km ² 居住可能面積 24.59km ²
志摩地区 54.55km ² 居住可能面積 35.18km ²

糸島市の総面積は、216.12km²。福岡ドーム3126.3個分の広さです。

人口と面積

1 データで見る いとしまの元気度

もっと知りたい

1月1日、ついに糸島市が誕生しました。この合併によって、糸島地域が将来にわたって、さらに発展していくことが期待されています。九州大学の移転や交通網の整備など、これからの糸島市が発展していく条件は整っています。そこで、今の糸島市の元気度がどの程度のものなのか、データを見ながら検証し、各校区の魅力を探ってみました。



糸島市長職務執行者 筒井 秀来



糸島市には、夢と希望に満ちあふれた明るい未来がある

糸島市誕生に当たり、糸島市長職務執行者として一言ごあいさつ申し上げます。

旧糸島1市2町は、これまでそれぞれに特色のあるまちづくりを進めながらも、同一の生活圏として一体的に発展してまいりました。

しかし、地方分権の進展、少子高齢化、それらに起因する国・地方財政の悪化など、地方を取り巻く環境が大きく変化する中で、将来の世代にわたるまで輝きを失わず、さらなる発展をめざすため、合併という道を選択しました。

わがまち糸島は、豊かな自然と素晴らしい歴史があり、優れた伝統や文化、産業がはぐくまれました。加えて、世界レベルの知的資源を有する九州大学の伊都キャンパス移転により、平成31年度には約19,000人を擁する研究・教育拠点が形成される予定です。

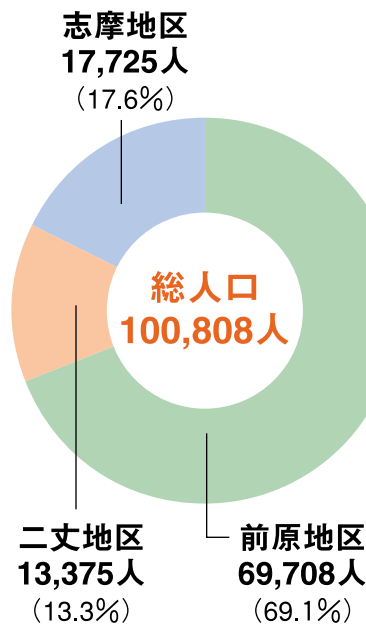
ここに市民の力が結集されれば、糸島市は夢と希望に満ちあふれた明るい未来をつくりだすことができると確信しております。

新時代の歴史的な第一歩を確実に踏みだすため、みなさまの一層のご理解とご協力をお願いいたします。

そのうち居住可能な面積は117.19km²で、全体の54.2%を占めています。

●糸島市も少子高齢化は進んでいる

人口は、10万808人(平成22年1月1日現在)となります。その内訳は、前原地区が約69%、二丈地区が約13%、志摩地区が約18%となっています。



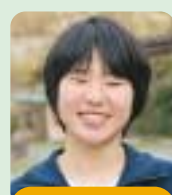
平成21年10月末住民基本台帳によると、総世帯数は3万6312世帯。1世帯当たりの世帯員は2.77人で、前原地区が2.72人と核家族化が進み、志摩地区が2.93人と高い人数を示しています。

平成17年国勢調査のデータを見ると、65歳以上の人口比率は18.8%。前原地区が16.6%と最も低く、二丈地区が24.0%と高くなっています。全体のおよそ14%の世帯が、高齢者夫婦世帯と高齢者単独世帯となっています。

15歳未満の人口は、1万4978人で、全体の約15%です。また、1年間の出生者数は817人。全体人口のおよそ0.8%で、確実に少子化が進んでいます。

市民のみなさんの声

10歳代から90歳代まで、いろんな声を集めました。



10代
濱岡 桜さん(13歳)・末永 糸島市に…自然をたいせつにした

糸島の魅力は、緑あふれる自然です。脊振の霧が晴れ、田園がぱっと広がる風景はとてきれいです。

糸島市は福岡市まで近く、田舎のようでも田舎ではありません。発展しても、自然をたいせつにする糸島市であってほしいと思います。



20代
吉住 幸起さん(25歳)・二丈吉井 笑顔あふれる糸島市になってほしい

地元の消防団に入っています。

糸島は人と人のつながりが強く、災害時もうまく連携がとれています。

今後、糸島市が発展していく中で、人情あふれる「いとしま」を守り、お互いが助け合える元気で笑顔のある都市になってほしいと思います。



30代
竹田 千春さん(38歳)・志摩井田原 喜びが見える地域を望みます

家業の農業で、主にハウスきゅうりを作っています。採れたての野菜は、子どもが通う学校給食の食材となり、生産の喜びがあります。

地域で取り組む町民バレーやソフト大会、子どもの駅伝大会など、地域住民が一体となるイベントを、新市でもぜひ続けてほしいですね。



40代
岡崎 真治さん(46歳)・前原南 魅力をたいせつにしながらの発展を

糸島を居住地に選ぶ人が増えています。都市に近く、交通が整備され、住みやすくなってきたのが理由です。

しかし、最も大きな理由は、糸島にしかない独特の魅力だと思っています。

豊かな自然とおいしい食材、温かな人間性など、糸島の魅力をたいせつにしながらの発展を願います。



50代
古川 裕子さん(56歳)・二丈深江 新しい糸島市を全国にアピール

糸島の良さを市民が理解し、自慢できる市になってほしいですね。

住んでいても、糸島のことをよく知らない人が多く、一人ひとりが糸島の良さを知ることがたいせつです。

そして、商工・観光関係者と行政が連携し、活気あふれる糸島市を全国に発信していくことを願います。